



A 試合会場レポート

試合番号 972

開催日 2018/12/22

平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子 ファイナルラウンド

会場：大田区総合体育館

観客数： 2,500	開始時間： 13:50	終了時間： 15:18	試合時間： 01:28	主審： 江下 毅	副審： 浅井 唯由
------------	-------------	-------------	-------------	----------	-----------

JTサンダーズ



監督： ヴコヴィッチ ヴェセリン
コーチ： サトレル ティネ

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:25 】	18	0
	29	第2セット 【 00:34 】	27	
	25	第3セット 【 00:23 】	16	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

ポイント 【】 内はセット時間 ポイント
- () 内は交代選手 -

豊田合成トレフェルサ



監督： トミー ティリカイン
コーチ： 藤田 和広

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

選手たちは素晴らしい試合で勝ちきることができたことにおめでとうと言いたい。ほとんどの時間帯で主導権を握り、冷静に戦いきることができた。
ファンの皆様ご声援ありがとうございました。

25	小野寺	劉	第1セット	近	高松	18	
	()	()		()	(小川)		
	エドガー	深津		イゴール	前田		
()	()	()	()	()	()	()	
()	()	()	(黒澤)	(傳田)	()	()	
リベロ： 井上 (航)		リベロ： 古賀 (幸)					
29	小野寺	劉	第2セット	前田	傳田	27	
	()	()		()	()		
	エドガー	深津		高松	黒澤		
()	()	(岡本)	(小川)	()	()	()	
()	()	()	()	()	()	()	
リベロ： 井上 (航)		リベロ： 古賀 (幸)					
25	深津	安永	第3セット	前田	傳田	16	
	()	(久原)		(内山)	()		
	劉	山本		高松	黒澤		
()	()	(小川)	(白岩)	()	()	()	
()	()	()	()	()	()	()	
リベロ： 井上 (航)		リベロ： 古賀 (幸)					
	()	()	第4セット	()	()		
()	()	()		()	()	()	()
()	()	()		()	()	()	()
リベロ：		リベロ：					
	()	()	第5セット	()	()		
()	()	()		()	()	()	()
()	()	()		()	()	()	()
リベロ：		リベロ：					

<監督コメント>

応援ありがとうございました。勝利をされたJTにおめでとうと言いたいです。年明けからまたリーグ戦が再開されますので、まずはリフレッシュし、良いチームとなって臨みたいと思います。

<要約レポート>

過去2大会連続準優勝の豊田合成トレフェルサと、準々決勝で現在V1リーグトップを走るサントリーサンバーズにストレートで勝利し、勢いをつけ準決勝へ駒を進めたJTサンダーズの一戦。

第1セット、JTは山本のサービスエースから安永のブロックや劉の連続ブロックで一気にリードする。豊田合成も徐々に調子を取り戻し、イゴール、高松、白岩が得点し点差を縮める。しかしJTはセッター・深津がエドガー、劉、安永、小野寺をうまく使い点差を広げる。豊田合成も傳田、前田のブロックポイントを引きついでに再度流れをつかみかけるが、JTはキャプテン・山本の攻守にわたる活躍もチームに弾みをつけ、第1セットを先取る。

第2セットは序盤から一進一退の攻防となる。動いたのは中盤、豊田合成・高松がスパイクを決めてからの2連続サービスエースを決めると近もサービスエースと続いた。JTも山本の安定したプレーや途中出場の久原のサーブでチームの士気を上げ、巻き返しを図ると、ボールを劉に集め同点に追いつく。互いに譲らぬ打ち合いとなり勝負はデュースへとつれ込んだが、最後はエドガーが強烈なスパイクを決めJTがセットを連取した。

第3セット、JTは小野寺のサービスエース、山本のスパイクでリードを奪うと相手のミスも手伝い大きくリードする。豊田合成もイゴール、高松を使い応戦するが、波に乗ったJTは劉のブロックポイントやサービスエース、続いて小野寺のブロックポイントとサービスエースで更に得点を重ねる。終盤にはエドガーの容赦ないスパイクが炸裂し、豊田合成を寄せ付けることなくストレートで勝利し、年末の日本一に一歩近づいた。

作成者： 遠藤 春枝